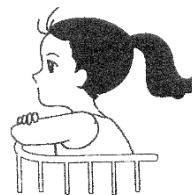


登校拒否・不登校問題

# 第23回全国のつどいin大阪 実行委員会ニュース NO.1



第23回登校拒否・不登校問題全国のつどいin大阪実行委員会事務局発行

2018. 2. 15

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 403 号

大阪教育文化センター気付、tel.090-2064-4622 携帯 fax.06-6768-2527

## 語りあい、学びあって

### 第23回全国のつどい実行委員会スタート



厳しい寒波のなか、全国からの皆さんのご参加を得て、第一回実行委員会の日を迎えました。北海道、岩手、埼玉、東京、神奈川、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、兵庫、岡山、長崎、そして地元大阪から、合わせて72の方がつどいました。

恒例の参加者自己紹介では、参加された皆さんの思いが2時間半にわたってこもごもに語られ、涙も笑いもありながらの温かくも深い学びと交流の場になりました。

---

### 全国連絡会世話人代表高垣忠一郎さんあいさつ

第1回実行委員会に全国からお集まりいただきありがとうございます。1995年阪神淡路大震災のすぐあと、大阪で教職員組合の教育研究集會が開かれ、その最終日に登校拒否・不登校の分科会からこの全国連絡会は誕生しました。

その後、全国のつどいをしようということで大阪で1回目のつどいが持たれました。大阪でするのは今回で4回目です。

23年経ち、全国連も大きくなり世の中も変わりました。

もともと、全国で親たちが支えあいながらやっいていこうと自主的に親の会ができていきました。そして各地の親の会がゆるやかにつながってそれぞれの経験や考えていかなければならないことを交流しようと全国連絡会ができました。

ところが、いま、教育の機会確保法（いわゆる不登校対策法）が国会で通り、そのことによって登校拒否・不登校の子ども、親たちに対する新しい大きな流れができ、子ども、親たちも巻き込みながら展開しようとしています。安倍政権の中で教育再生実行会議が開かれて10個の提言を出しているが、中身はいずれも「人材」。教育は人材の養成のためにしようという上からの流れがふってきていて、その流れで確保法も出てきています。不登校の子どもの中に特別な才能をもつ子もいるだろう、それを発掘して育て、企業の役に立てよう、そういう感じです。

そういう中で全国連はどういう役割を果たすのか。全国連も新しい段階での生みの苦しみをしているなど痛感しています。そういう時に、最初につどいをした大阪の地で開くのも困縁を感じます。ぜひ全国連、それにつながる各地域の親の会がますます子どもたちのために貢献できるような親の会になっていく、その契機になるようなつどいにしてほしいと思います。寒い中ですが、燃えていただきたい。



## 実行委員長あいさつ（福田敦志さん）



自己紹介に先立ち、実行委員長の承認を行いました。

大阪では準備会を持って、「今の学校・教育の現状をよく知る方を」と大阪教育文化センターに相談し、代表で、大阪教育大学の准教授でもある福田敦志さんを紹介していただいた経過の説明があり、拍手で承認されました。

この夏で46歳になります。自分の父母と同世代の方々もおられ、そんな中で実行委員長を引き受けるのは感慨深いと思っています。育ちに関わって言うと、私の世代から不登校が全国的に話題になるようになった自覚があり、私は岡山の普通の公立中に通っていましたが、とても荒れた学校で、バイクが校内を走り教師が竹刀を持って追いかけるようなところでした。その後、学校が落ち着くと同時に不登校が続出。不登校は他人の問題ではなく、自分の問題や友人たちの問題でした。

ここに集まられている人たちがどんな思いを持ってこられているかしっかりと理解しきれないけれど、関りながら子どもを守りたい、自身も守りたいと思われるのではないのでしょうか。その思いが、実はすべての子ども、親を守ることになると思っています。今の情勢は才能ある子を人材として使い捨てるけれど、そうではなく各個人の育ちを大切にすることはどういうことか、練り上げる場がここだと思います。そこに居合わせていることについての責任もしっかり受け止めながらこの半年お付き合いをしていきたい。つどいの成功に向けて頑張ります。

## 第 22 回の東京からの報告

2017 年の全国をつどいの開催地東京からも参加があり、現地事務局を代表して報告がありました。

全国からの協力に感謝している。つどいを知らない人からベテランまで混じる中でいろんな思いが交錯し苦労しながら創っていった。分科会や基礎講座の新しい試みや、子どものつぶやきをもとにオープニングを創った取り組みも、やりとげられてよかった。641 人の参加のうち 280 人が東京から、親の会を知らなかった人もたくさん参加され、特に中学校分科会に 70 人の参加があったことは驚きで、新しいつながりが広がった、等の報告があり、会場から大きな拍手がありました。

## 大阪の準備会からの報告

大阪ではこの 1 年、準備会を持って会場探しなど、準備を重ねてきました。

「安心と気づきと学びの場」であるつどいの原点を確かめあいながら、22 年を振り返りつつ 23 回目のつどいを作っていきたいと願っていると、大阪の思いが報告されました。

全国のつどいができるまでの経緯を故松本弘義さん(前全国連絡会世話人代表)がまとめられた文章や、一回目のつどいの時に事務局が参加者に呼びかけた文章、過去 22 回のつどいの概要一覧表などが資料として出されました。(このニュースの 6、7 ページに収録しています)。



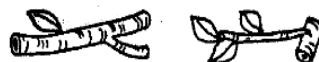
## 参加者の自己紹介

毎年の、各地のつどい実行委員会で恒例となった「自己紹介」は、それ自体が交流の場です。今回も、初参加の方から、23 年目の方まで、父母、教職員、相談員や元当事者の方など、幅広い参加者が思いを語り合いました。

「今行けてない」「もう 40 代」などそれぞれの子どものこと、これまでのつどいにも参加してこられた方々からは「不登校のことをわかっているつもりが、参加のたびに新しいことを学んでいる」、「親子ともどもつどいで元気をもらっている」、「つどいが自分の人生を創ってきた」、教職員の方からは「安心して通える学校に」、NPO 法人教育相談おおさかの相談員からは「一緒にとりくみたい」…等。

感想の中にも「自己紹介を聞くだけでつどいを感じます」、初めての方からも「自己紹介の時間がすごくやさしい雰囲気、それだけで今日は参加できてよかったと思いました」、などの言葉がありました。

## 第一回実行委員会で決まったこと



★実行委員長、福田敦志さん。

★つどいの概要について以下承認されました。

①名称「第23回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 大阪 ～語りあおう学びあおう子どもたちをまんやかに～」

②主催・・・「登校拒否・不登校問題全国連絡会」と「第23回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 大阪実行委員会」

③日時・・・2018年8月25日（土）～26日（日）

④会場・・・エルおおさか（1, 2日目）、とドーンセンター（1日目）の二つになることが確認されました。今回不本意ながら2つに分かれざるをえませんでした。ご不便をおかけしますが、準備会で準備してきた内容を、次回実行委員会で、詳しくお伝えし、ご相談したいと思います。

★事務局メンバーと分担体制が紹介されました。

事務局長（今本）、次長（小林）、会計（倉本・松下）、渉外（古庄健、小林、谷川、茶園）、会場（谷川・大谷）、分科会（西田・加藤）、ニュース（加藤・大谷）、庶務（片山・羽野）、書籍（羽野）名簿管理（砂塚）

★事務局の連絡先を下記の通り、お知らせしました。

住所・・・543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館403号室、大阪教育文化センター気付

つどい専用携帯・・・090-2064-4622 FAX 06-6768-2527

★遠距離の実行委員会参加者の交通費補助については、従来通り、交通費が往復2万円以上の方に、1万円の補助をすることが提案され承認され、この日の参加者からお支払いが始まりました。

## 話し合われたこと

★記念講演については、今回、短時間でしたが「どんな話が聞きたいか」について、意見を出し合いました。次のようなご意見がありました。

☆子どもが学校へ行くための接し方の先生を推薦したい。

☆全国連絡会の申し合わせのような内容を視野に入れて語ってくれる人がいい。

☆22回のつどいで蓄積されてきたところがあると思う。「信じて任せて待つ」という言葉に凝縮された中身が学べればと思う。

次回実行委員会以後、どんな講演が求められているか、聞きたいか、意見を出し合い、決めていきたいと思えます。この方というお心当たりのある方は、次回にご意見を出してください。事務局からも提案します。

★また、分科会について、昨年の「特設分科会」がよかったとのご意見も出されました。分科会の構成や中身、持ち方については、去年までの22回をふまえて今後

話し合っていきたいと思います。

プレ集会についても持つかどうかを含めておはかりします。

## 感想から

☆全国からたくさんの方がいろんな思いを持って来られ、つどいに対する期待が感じられました。大阪でのつどいに来られる方々がホッとできるようお迎えできればと思います。(大阪・父母)

☆たくさんの方が集まっていて緊張しました。実行委員会は初めてです。何か微力ではありますが、お手伝いできればと思います。よろしくお願いします。(大阪・父母)

☆子どもたちも方向転換しつつも動いているし地域で活動に関わっているわけでもないで、つどい参加は少し迷っていました。でも、今回来て、個人でも何かの形で「伝える」ことはできると感じました。そして自分が関わることなのか、もやもやしていたことが、関わることで自分も心にひびくことがあると、参加したいと思った。(京都・父母)

☆ちょっとひといき 大阪のいいところ・名物案内

### 今回は「ミックスジュース」

大阪のミックスジュースは牛乳の入った濃厚なジュースです。お店によってフルーツが異なりますが、バナナや桃缶、ミカンの缶詰などが入っています。

① 天満橋駅(会場「エル・おおさか」の最寄り駅)の1階に「juicer bar (ジュースサーバー) 天満橋店」があります。

フレッシュジュースのテイクアウトのお店で、京阪の東改札出たところ、地下鉄からだ2番出口の手前にあります。

Sサイズは180円、Mサイズは250円で、気軽に大阪名物ミックスジュースが楽しめます。

② 実行委員会あとの懇親会で行く「懐い古や」でもミックスジュースが飲めますよ〜♪

大阪の味、ぜひご賞味ください(\*^~^\*)

## つどいちゃんストラップ、ほか物品販売のお知らせ。

大阪のおみやげや手作り品、おやつなど、つどいの資金作りを兼ねて、事務局から販売します。ご協力よろしくお願いします。

ホームページについては準備中で、近日公開します

## 資料1、「全国のつどいができるまで」

全国連絡会ニュースNo69 掲載、前全国連絡会世話人代表松本弘義さん「私と『会』の歩んできた道」より抜粋

### 全国のつどい出来るまで

#### 1. 教育研究全国集会

「登校拒否を克服する会」は全日本教職員組合(全教)の教育研究全国集会(教研)にも参加し成長してきた。90年の京都教研に相談員の村上先生と書記の太田さんと母親のNさんが共同発表をし注目されたが、毎年の全国教研にはレポートを発表し多くの世話人も参加して全国の仲間と交流した。このつながりが「全国連絡会」に発展する。大阪のレポートは交流会での体験談から大教組教研で発表、大教組からの2本のうち1本は親のレポートが選ばれた。交流会→大阪教研→全国教研と重層的に検討が加えられていくので理論的にも深められて行った。

#### 2. 「登校拒否・不登校問題全国連絡会」結成

全国教研で、親・教職員・相談員・司会者・研究者などのつながりが深まり、大阪の交流会へ他府県からの参加者があつたりする中で、この問題での全国的組織が必要ではないかという声があり、全国から10名の方が呼びかけ人となって、91年埼玉教研終了後、登校拒否・不登校問題の交流会を持ち、92年の和歌山教研で準備会を結成した。

準備会から95年の結成まで、各都道府県での親の会の動きや、申し合わせ、事務局などについて慎重に話し合った。

95年、大阪教研を機に結成総会を開くことになった。その1月17日の朝、阪神・淡路大震災が起った。教研は開会日の行事は中止したが、翌日から分科会や附属会議は予定通り開かれた。「登校拒否・不登校問題全国連絡会」結成集会も国労会館で開くことが出来た。周囲騒然とした中での船出だった。

その中で申し合わせの目的の「登校拒否をなくす・・・」は、そのことが悪いとも取られかねないとして、反対意見が出され、このままでは全会一致が得られない状況になった。

ここで結成されなければ、長年の努力も無になると考え、一致しない部分を保留して申し合わせを決定することとし、全体で保留部分を除いて確認した。

事務局は、大教組とのつながりも密で、交流会などの経験も積み、当時世話人会もまとまっている大阪が引き受けることとなった。

#### 3. 「全国のつどい」

その翌年の教研集会が札幌であった。大阪の克服する会からもレポートを出し、世話人も多く参加した。その帰りの飛行機の中で高垣氏から「全国連絡会として何か集まりをしてはどうか」と話があった。

どんなものになるか判らなかつたが、そのあとの近畿ブロック会議で話題となり、大阪ですとすればどこか会場があるなあということで、芦名先生(当時全国教研司会者)が大教組がよく使っている不死王閣に電話すると、「8月末の土日は空いている」ということで、とにかくその日を押さえたのが「つどい」の第一歩であった。

その後、事務局として、研究者・全国世話人などに連絡、電話でも連絡しあいながら「つどい」の内容を決めていった。忙しかったが、何も見本のないだけに気楽でもあった。200人くらいと考えていたが、思わぬ参加者で係に当たった人がてんでこ舞いをした。

## 資料2、『全国のつどい』におこしのみなさまへ

1996年第一回全国のつどい速報「希望つむいで」1号掲載

「全国のつどい」におこしのみなさまへ

こんにちは。いろんな想いや願いをこめて、ようこそおこし下さいました。

私たちの「登校拒否・不登校問題全国連絡会」は、一人ぼっちで悩む人をなくそうとの願いから、1995年1月にスタートしました。

近畿・大阪を中心に、はじめてのこの「つどい」づくりにとりかかって半年もたたぬうちに今日を迎えました。かかわるひとりひとりがいろんな困難をかかえながらも、手づくり、手さぐりでやってきました。一日の仕事を終え、家事のだんどりをつけて、「つどい」づくりのために集まりました。父母と教職員やまわりの方々が頭をよせあって、一葉のちらしにも何時間も話しあってつくってきました。心を伝えあう話しあいは遅くまでつづきました。この「つどい」でおひとりでも気が楽になれる方があればと思い、少しでも今の日本の子どもたちが生き生きできるようになればと願って力をつくしました。でもいろいろと不行き届きなところがあり、ご迷惑をおかけし申しわけありません。参加者みんなでつくる「つどい」です。どうぞよろしくご協力のほどをお願いします。

たくさんの新しい出会いに励まされながら「つどい」づくりをすすめてきました。オープニングのミニコンサートは「そんな“つどい”をするのなら私たちがオリジナルな歌を」と申し出て下さったのがきっかけでした。

ここには都合で参加できない方が、たくさんの方々の心からの思いをあつめ「希望つむいで」の詞集をまとめて下さいました。

たまたま案内らしを目にした中学生が、「私も行ってみようかしら。そこでなら私の気持ち話が話せそう。」の一言から、お母さんと参加申し込み。それを伝え聞いた大阪の子どもが「私も行く。」と言い、家族で行くとお金もかかるしと応える親に「お金にかえられないものがあるやろ」と。新聞や雑誌で見てとか、知人に聞いてとのお問い合わせも多数ありました。それぞれの地域でも案内を配って下さいました。

こうして参加申し込みは350名を超えました。力不足の事務局としては、とまどいながら今日を迎えています。(最終的に参加者は593名)

北海道から九州まで、登校拒否・不登校問題に心をこめてかかわってこられた専門家をはじめ、さまざまな方々に、あつかましくも交通費・宿泊・参加費も自費での参加をお願いしました。おうけ下さいましたことに心から感謝申し上げます。そんな方々のお力添えもあって実りある「つどい」になることと信じております。

この「つどい」は参加されたおひとりおひとりが主人公です。どこかで参加してよかったと感じていただければと「つどい」事務局一同は願っています。お気づきのことがありましたら、なんでも本部までおっしゃって下さい。できるかぎりおこたえしたいと思っております。

第一回登校拒否・不登校問題全国のつどい 事務局一同。



## 次回以後の実行委員会ご案内

★今後の実行委員会は基本的に毎月第一日曜（7月のみ第2）、エル・おおさか（8月のみ上記教育会館、13～17時。そのつど実行委員会ニュースでお知らせします。

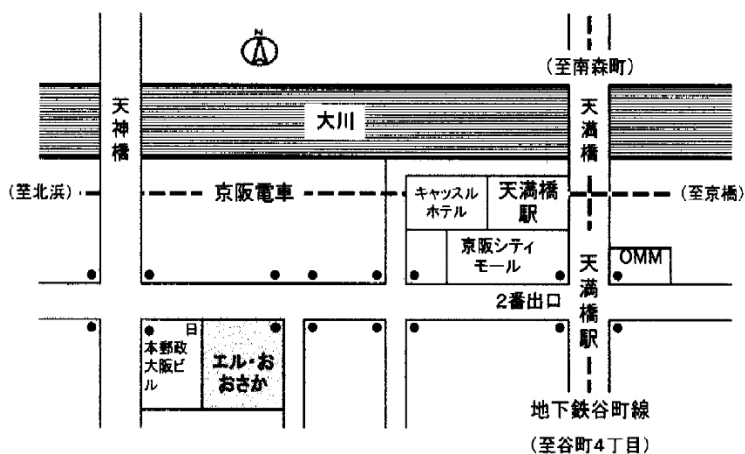
～．

## 「第23回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 大阪」 第2回実行委員会のご案内

下記のとおり第2回実行委員会を開催します。  
みなさまのご参加をお待ちしております。

### 記

日時 3月4日（日）13：00～～17：00  
場所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）606号室  
内容 つどいの全体像について  
日程、会場について  
記念講演、分科会、基礎講座などについて など



●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西 300m ●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東 500m ★車の方は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点を左折して西へ信号5つ目 ★新幹線でお越しの方はその乗車券でもう一駅、JR 大阪駅下車、地下鉄谷町線東梅田駅へ移動、二駅目が「天満橋」駅になります。

第3回実行委員会は4月1日エル大阪南館734号室。第4回は5月6日同本館606号室